

# エムケーが最優秀賞

## 地域経済発展に貢献

### 多摩グリーン賞

新しいビジネスモデルで多摩地域経済の発展に貢献した中小企業、団体などを



「素晴らしい賞をいただいた」と小林社長

表彰する、第11回多摩ブルー・グリーン賞表彰（多摩信用金庫主催）の多摩グリーン賞（経営部門）で、不動産開発・販売会社のエム・ケー（小林勤社長、東京都日野市）が最優秀賞を受賞した。地域活性化に向けた大規模市街化調整区域の開発などが高く評価された。

12日の表彰式で、最優秀賞が発表された。小林社長は「このような素晴らしい賞をいただき、関係者の皆さまに感謝する。地域経済発展のため、今後もまい進していきたい」と挨拶。多摩グリーン賞には51件の応募があった。

多摩信金の八木敏郎理事長が「新しいビジネスモデルを表彰することは、明るい未来を築く土台となる。今後とも研さんを重ねて欲しい」とたたえた。各賞は、多摩ブルー・グリーン賞の選考委員会（関満博委員長、明星大学教授）が独自性、収益性、地域性などを基準に3次選考を経て選んだ。

エム・ケーは小林氏が1988年に創業。市街化調整区域の開発などを得意とし、特に埼玉県久喜市と協働で進めた産業団地、ネクストコア清久が行政から注目されている。

最近では、小林氏のテレビ出演や事業モデルを紹介する単行本が関心を集めている。  
(高橋 朋宏)